

雲のかたちや虫の声に秋の気配が感じられます。
でもまだ残暑は続きますので、日々の気候にあわせて体調を整えてください。

デイサービス八重桜本店

【風鈴絵付け製作】

チリンチリンと風に揺れる風鈴は、夏の暑さを吹き飛ばす涼しさを感じさせます。この日のレクリエーションは、風鈴にご利用者さまそれぞれの思い描く絵をかいていただきました。綿棒の先に絵の具をつけて、いざ製作開始。「難しい」という声が所々で聞こえる中、皆さまは黙々と作業に取り組みます。少しすると、まささらだった風鈴に少しずつ色が付き始めました。どつなるとスタッフも楽しみに見守る中、次々に素敵な絵が。花火やひまわり、金魚など夏らしい絵が、風鈴という小さなキャンバスに生き生きと現れました。その出来栄に皆さま拍手喝采。各々が描いた作品を見せ合いながら会話を楽しんでいました。



【夏まつり】

八重桜夏の最大のイベントと言えは夏まつり。本物のお祭りさながらの活気にするため、スタッフはみな数日前から遅くまで準備をしていました。

さて当日を迎えて、スタッフは浴衣や甚平を着てご利用者さまをお迎えしました。玄関には以前のレクで皆さまが絵付けをしたくださった風鈴がチリンチリンと揺らぎ、祭りの雰囲気さらに盛り上げます。的当て、カップインゲーム、ヨーヨー釣り。スタッフ



フ自作のゲームとかき氷などの軽食、おにぎりにから揚げ、おでんといった昼食をはさみ、目玉の抽選会へ。今年はなんと一等が五千円ということ、クジを引く手にも力がかかります。一等を当てたご利用者さまはニコニコ素敵な笑顔に。その他のご利用者さまも自分の当てた景品に一喜一憂されていました。

祭りの最後は皆さまで盆踊り。スタッフもご利用者さまも入り乱れて楽しく踊りました。「コロナ禍ということでも様々制限はありましたが、スタッフ全員の楽しませる気持ちで大盛況に終わった夏祭り。もちろんスタッフも心から笑顔で楽しんでいました。

かかりつけ看護師

西 勝康

皆さま「かかりつけ

医」をもつての方が多いと思いますが「かかりつけ看護師」は言葉すら聞きなれないとおっしゃるでしょう。訪問診療、訪問看護のもとで、在宅療養生活をされている人以外には縁のない呼称でした。

ただ今後、後期高齢者が更に増え続けていきます。そうした中では

・住み慣れた家で安心して療

・病気や痛みで生活が

・配だな

最後の時まで自宅で穏やかに過ごしたいのだけれど…

というような人が増えるでしょう。このような人に対して定期的に自宅に来てくれる「かかりつけ看護師」がいてくれると大変心強い

と思うでしょう。

訪問看護師は

一、身体測定や観察をして変化がないかを見ます。

二、身体の苦痛、痛みを緩和できるような個別ケアを提供します。

三、療養生活を送るうえで心配事などの話を聞いて、心が軽くなるようにアドバ

イスをします。他にも医療面、生活面の両方の目線ですっかりサポートします。

これからの超高齢社会を地域包括ケアシステムで乗り切れるかどうかは「訪問看護」が社会インフラとしてその機能強化が進められるかどうかにかかっていると

言っても過言ではないでしょう。

桜の広場

デイサービス八重桜 朱雀

【夏まつり】



朱雀館ではいよいよ恒例の一大イベント「夏まつり」の日を迎えました。朝から赤と白の紅白幕と、カラフルな提灯が朱雀館を祭りに色に染めています。基平、綺麗な浴衣、祭り書かれた法被を着ていよいよ夏まつりスタートです。午前中はご利用者さまに法被とハチマキを着けていただき順にゲームコーナーへ。

射的ゲームでは的に命中してもしなくても、全員に景品をお渡ししました。次は金魚すくいゲームです。すくおうとすれば逃げてしまつ金魚達にかなり真剣な表情でした。こちらの金魚すくいゲームも記念に十匹ずつお渡しさせていただきました。カラフルな金魚を見てご利用者さまは大喜びされていました。ゲームのあとは待ちに待ったお昼ご飯です。唐揚げ、おでん、そうめん、おにぎり。ここにごこと笑顔で舌の上がっつてくださいました。少し休憩をはさんで、いよいよ大盆踊りです。フロアを中心にやぐらを設置して、唄に合わせて踊りました。最後は職員一人がやぐらの上で河内男節を熱唱。沢山の笑顔と笑い声が朱雀館を包みこても楽しく想い出に残る一日でした。

【屋台ゲーム】

蝉の鳴き声が響く八重桜朱雀館では、まだまだお祭りの気分が続いています。お祭りと言えは屋台ですね。今回のレクリエーションは「屋台ゲーム」を企画しました。一枚の紙に表はお好み焼き、裏面には目玉焼きの写真を貼り付けまるで鉄板焼きのようにひっくり返していくゲームです。二名対抗戦で何枚返せたかを競い合っています。昔屋台で食べた事を思い出される方もいました。返し道具は団扇を使わせていただきます。中々思うように返せない方や、真剣な表情で次々と返していける方も。制限時間内に全て返せた方もおられ観客達も大盛り上がりでした。お好み焼き食べたい、私は目玉焼きが食べたいと目を輝かせながらお話をされていました。

夏はまだまだこれからですね。職員、ご利用者さま共にこまめな水分補給などに気を付けつつ、日々楽しいレクリエーションを一緒に楽しみましょう。



デイサービス八重桜 押熊

【夏まつり】



今年の夏まつりは、縁日でお馴染みのゲームを用意しました。

千本引きは、たくさんのお紐の中から、一本選んで引く張りです。何が当たるか、お楽しみです。射的ゲームでは、魚、昆虫、お化けなどの的に狙いを定めてシューティング。当たっても、倒すのはなかなか難しいゲームです。

輪投げは、階段に置かれたペットボトルに向けて輪を投げます。輪っかは、なかなか思うように飛ばず、皆さま、苦労しておられました。

お昼は、焼きそば、おでん、おにぎり、フランクフルト、タコなしたご焼きと盛りだくさん。そのあとは、お楽しみ会の抽選会です。賞品には、化粧水、メモ帳、扇子、ポシエット、肩こり用マッサージ器、靴下、ハンドタオル、フリカケ、梅干しなどがありました。気に入った品物をゲットでき、喜んでいらっしゃる。これは、何に使つのかしらと悩んでおられる方。孫のプレゼントにでもしようかしら、と皆さまの感想は様々でした。

【射的ゲーム】

今日は、皆さまで射的ゲームです。的になるのは、蟻、カエル、蛾、オバケ、蜂です。縁日の射的、あるいは、温泉街のゲームコーナーなどを思い出された方もおられました。「懐かしいゲームやねえ。嫁さんと伊豆長岡温泉に行った折、ゲームコーナーがあつて、嫁さんに自慢したことがあつたなあ。」と昔を懐かしんでおられました。

この射的は五本の矢を撃つて、いくつ倒せるかの競い合いです。矢的に当たっても、的がひっくり返らずに、得点にはなりません。「せつかく当たったのに、なかなかしぶといなあ。倒れへんわ。」と、なかなか思うようにはいかない、難しいゲームです。皆さま諦めずに、的に当たるように工夫しておられました。的に当たったときは、周りの方も一緒になって喜んでおられました。



デイサービス八重桜 平城

【夏まつり】



東京音頭やお祭りマンボのメロディに乗って「ハッそれお祭り」の始まりです。金魚すくいでは、スタッフが水槽の中をかき回すと、中で泳いでいるプラスチック製の金魚達が、渦を巻きながら動き出します。中には、「ロップ」ご水につけて、一度に何匹もすくおうとする方もおられ、皆さまも大笑いです。スタッフの写真が「的」になった射的では、親しみを込めてのナイスショット。ご利用者さまとスタッフのペアによるスライカ割りでは、「もっと前」「右」「左」などの皆さまからの声飛び交う中、「バチッ」という音でスライカが真っ二つに割れたかと思えば、次のスライカはなかなか割れず「えんや」「の掛け声でようやく割れて、会場が笑いと拍手で包まれました。皆さまとスタッフ一同で乾杯してから、ちらし寿司とそうめんの昼食です。デザートに出された、ミキサーにかけたスイカジュースの味は格別でした。

【新聞で空手チョップ】

皆さま、新聞紙を破る「空手チョップ」に挑戦です。スタッフが両端を持ってピンと張りつめた新聞紙を上から一気に真っ二つ！何気ない動作に見えて、集中力がなくて、力み過ぎると、手が新聞紙の上で止まってしまうったり、途中でシワになったりしますので、適度の力量、タイミングが重要です。レベルの違いこそあれ、何枚も重ねた瓦を一瞬で割る、空手の技にも通じる原理です。一枚破って二枚になった紙を重ねてチョップし四枚、八枚と続きますが「コツ」さえ分かれば、難なくチョップ出来ます。一瞬の集中力、力量やタイミングの加減は、普段の立ち（起き）上がり、移動、移乗をはじめ、様々なADLの維持にも大切な心得です。スタッフが皆さまのお席を回って、お一人一人楽しんでいただき、上手くできた時の「金メダルがとれますねー」この賛辞に、照れくさそつな、嬉しそうな笑顔で応えておられました。



デイサービス八重桜 西奈良

【バッティングゲーム】



夏の風物詩といえば皆さま何が思い浮かびますか？花火、祭り、海など夏はワクワクする事が盛り沢山ですね。そして忘れてはいけないのが、「甲子園」。今年も暑い中、全国の高校生は優勝目指して頑張っています。汗や涙を流して頑張っている高校生を見ると元気がもたれますね！
本日のレクリエーションは、西奈良流のバッティングゲームです。おしゃみと新聞紙で作った玉をテーブルに置いて、手作りのバットを使って球を遠くまで飛ばします。より遠く伸ばすと点数が上がるゲームです。普段、腕を振る機会はないので、一人六球飛ばした後は、「腕しんどい」とお疲れの様子でした。一番高い点数までボールが届くと皆さま一緒に喜びを分かち合っておられました。

【夏まつり】

一年のうちのビッグイベントである、西奈良館の夏フェスこと夏まつりが開催されました。午前中は、ヨーヨー釣りや水鉄砲の射的ゲームなど、懐かしのゲームで皆さま童心に帰ったように楽しまれていました。午後からは夏を代表する遊びのスライカ割り。目隠しをして前に進む時は、「びつち行ったらいいか分からん」と声を上げながらドキドキした様子。最後は職員がグルグルバットでフラフラになりながらも、綺麗にスライカにクリーンヒット！皆さまの歓声がフロア内に響き渡りました。締めは夏まつり仕様の特別おやつタイム。春日鹿饅頭とアイスクリームで、一日の疲れが吹っ飛んだのではないのでしょうか。スタッフの「ワッショイ」という声と共に夏まつりは締めくくられました。



笑顔

小木曾 加奈



介護補助として採用していただき、昨年より綾部専務にお声がけいただき、事務員としても勤務させていただいております。

早いもので、八重桜で働き始めて五年半が過ぎました。独身の頃は七年程、管理栄養士として保育所や心身障害児施設の給食業務に携わってきました。毎日、子供たちの可愛い笑顔に癒され、心から溢れる笑顔つとでも素敵だと思ふようになりました。結婚出産を機に専業主婦をしていましたが、子育てが落ち着き仕事を探そうとした時にポストに入っていたのが八重桜の求人チラシでした。介護施設勤務は初めてで、お年寄りへの接し方、また、未知の介護の世界に戸惑う事もありました。

幸せなことに、ご利用者さまから声をたくさんかけて頂け、他愛無い会話から、ご利用者さまのそれぞれ全く違う人生や八重桜を利用される経緯を知る事が多々あります。楽しかった若い頃の思い出、辛く大変だった過去そしてそれらを優しい眼差しで笑い話に変えて私に話してくださいます。その笑顔が皆さま素敵で、心から溢れる笑顔に見えます。年齢は違っても笑顔は相手を幸せな気持ちに出来る魔法のような物だといつも感じます。私自身もご利用者さまに対していつも笑顔で接したいと思っています。

事務と介護補助を兼務するようになり、両方の立場視点から八重桜を見られるようになり、事務長はじめ、事務所の方々に優しくご指導いただける環境にいることを、とても感謝しております。笑顔溢れる八重桜本店で、これからも一生懸命自分らしく笑顔でがんばりたいです。

俳句教室発表句

(敬称を略します)

よく冷えた

スイカー一玉

独り占め

田中弘子

独り占めなんて最高ですね!!

いつかまた

線香花火

孫達と

田中鶴太郎

なんだかほっこりしますね。叶うといいですね。

お盆だね

あなた元気に

してますか

溝口ナミ子

そうですね。きつと元気にしておられますよ。

セイシユンの

たまものおうか

高校野球

村上利一

青春って良いですね。

打ち上げの

花火輪となり

宝石に

津田千代子

大輪の花火綺麗ですよ。

祈りこめ

母と見上げる

大文字

川井弘子

思わず手を合わせたくなります。

線香の

けむりにのって

帰る父母

豊田レイ子

来年もこちらでゆっくりしていただきたいですね。

遊歩のこころ

どんなに勉強し、勤勉であっても、上手い出来ないこともある。これはまだ機が熟していないからであるから、まずは自らを鼓舞して耐えなければならぬ。

渋沢 栄一



八重の家通信 24

八重の家

小島 桂子

虫の声に秋の気配を感じる今日この頃、この度、八月二十二日付で「介護主任」に任命していただきました事を皆さまにご報告させていただきます。私は三十九歳の時に介護の仕事に出会い、デイサービス、生活相談員、訪問介護、病院の看護助手等の職種を経験して参りました。ご縁があり、八重桜に入社させていただきます。四年目に入ります。

「L・ファミリーモア八重の家」の開設とともにオープニングスタッフ、コンシェルジュとして従事して参りました。「サービスタップ高年齢者向け住宅」は初めての経験で戸惑う事も多々ありましたが、上司・同僚・看護師・レストランの職員、周りの全ての方々のサポート、そして何よりもご入居者様の存在がとて大きく大変感謝申し上げます。

朝、出勤して、八重の家の玄関を入ると皆さまのお顔をとお声を感じる事が出来、私の元気の源です。家族の様な存在で皆さまのお顔を見るとホッと致します。私は「心で対話する」という事を大切にしております。皆さまにおかれましては、コロナ禍中で大変な試練を強いられており心が痛みますが、少しでも気持ち良く笑顔で過ごしていただきますよう、また「介護主任」という職に恥じぬよう、日々精進して参ります。これからどうぞよろしくお願ひ致します。

馳せ走る 食の匠のひとりごと

「桜寿し」オープン

西 勝康

日本人は寿司が好きです。昨今では日本人のみならず世界中で美味しいだけでなくヘルシーということで大流行しています。一方で昔ながらのお寿司屋さんはずっかり無くなつて、大型の回転寿司チェーンが主流です。またスーパーマーケットでにぎり寿司の盛り合わせがパックで売っています。今では店でカウンターに座って、前に立つ職人さんに注文して食べるといふことは一般の人でもなかなか機会が無いでしょう。

そこで八重桜では、昭和の時代にはごく普通であった昔ながらのすし屋を本店内に造りました。常設店です。要介護のご利用者さまたちに喜んで頂けると確信して握らせていただきます。